

SUO ŌSHIMA

2022.7 No.70

周防大島町 議会だより



久賀グラウンド・ゴルフ協会の皆さん

子育て世代の皆さんに聞きました！

自然を共有できる施設を！

#父の仕事を継ぐためUターン

東和地区

岡 畠さん

私は、進学のため東京へ上京したのち、父の営む造園業を継ぐために妻と子ども2人と周防大島へUターンしました。現在は、子どもが4人に増え、家族6人で暮らしています。

#暮らしやすい環境

周防大島での子育ては、話を共有し、お互いに助け合える同級生が多く、医療費の無料化や保育料の無償化、中高一貫教育など安心して暮らしやすい環境にあると感じています。



#困ったこと

子育てをする中で困ったことは、子どもが病気になるなど緊急時に小児科が無いいため島外まで行かなければならないことです。

#今後期待すること

子どもと一緒に利用できる飲食店や周防大島の自然を共有できる施設が増えれば子育て世代は助かり、島も活気づくのではないかと考えます。

今後も、子どもたちがこの島へ帰ってきたいと思えるような取り組みを期待しています。

本当に必要な教育とは？

大島地区

泉 本さん



#PTA 会長として

私の3人の子どもたちは、三蒲小学校に通っており、私はPTA会長を務めています。「学校が良くなり、地域が良くなるためにはどうすれば良いか？」ということを考えてことが多くなりました。

#コミュニティスクールの存在

過去に起こった大島大橋の事故やコロナ対応、今の学校の状況、島内外との比較など考えればきりがありませんが、いま一番必要なのはコミュニケーションだと思います。

山口県では全ての国公立小中高にコミュニティスクールを設置していますが、実際にはその存在が何なのかあまり知られていないのが現状です。それを皆が認知し、利用することができれば、学校とPTAが力を合わせ、子どもたちの心を守り、自分自身や周防大島に対する肯定感を育んでいけると思います。

そして、その子どもたちが、島の活気を生む環境を作っていけると思います。

#本当に必要な教育とは？

制度や時間にしばられるのではなく「子どもたちにとって本当に必要な教育とは何か？」と大人たちが話し合い、確実に形にしていくことで子どもたちを安心させ、笑顔を作り出せると考えています。

福祉課推し施策 **周防大島町 子育てブック**



町の施策に感謝！

#心が楽に

1人目の子育ては、何も分からず大変心配でした。

そんな時、保健師さんや管理栄養士さんの育児相談があることを知り、心配事を聞いてもらい、心が本当に楽になり安心しました。



#昔はなかった支援

我が家は1人目からは児童手当、2人目の途中からは、保育料の完全無償化、そして、中学生までの医療費が完全無料化など、昔にはなかった支援があり、周防大島はとても子育てしやすい町になっていると感じます。

#高校生の医療費を無料に！

欲を言えば、高校生までの医療費が無料化されるとうれしいですね。

子どもたちが大人になった時、大島で子育てがしたいと思えるような町であってほしいです。

そのためには、今ある支援を当たり前と思わず、感謝して、将来につなげていかなければいけないと思っています。

大島地区 芝山さん



子育ての嬉しい制度

橘地区 山田さん



#カナダから移住

昨年、カナダから地元である周防大島に移住し、自宅で英会話教室をはじめました。

出産を機に、やはり子育てをするなら自然が豊かで、田舎ならではの人の温かみを感じ、そして仕事をしながらでも子どもと長い時間一緒に過ごしたいと思い、決めました。

#家計の負担軽減に

実際、周防大島で子育てをしていて良かったと感じる点はたくさんありますが、日々のことであれば、まず、医療費の無料化です。

子どもがまだ小さく、すぐ熱を出したり、何かと病院を受診する機会が多いため、大変助かっています。

次に、保育料の無償化です。それだけ家計の負担も減るので、うれしい制度です。行政や議員の皆さまにはこれらの無料・無償化については、ご尽力いただいたものと思います。

#近所に子どもが少ない

昔と比べ、近所に子どもが少ないので、今後の子ども同士の関わりが少し気になる所ですが、子育て世代を含め、皆が住みよい町になることを願います。



福祉課推し施策 **子ども医療費の無料化**



中高生のいる子育て世代から一言！

#助かっていること

久賀地区

濱村さん

医療費助成制度についてはありがたく、非常に助かっています。
中学校の統合については、授業内容の充実や放課後の部活など、昔を思い出すような活気が戻り、運動会も子どもが多くなりすごくよかったです。

#島高に進学する子も大事にして

中2の次男を地元の島高に進学させたいと思っています。
大島で育ち、大島で進学する子をもっと大事にしてほしいと思っています。
地元の子を大事にしないと島外の高校に行ってしまうので、大島で育った子に対して、もう少しあたたかい支援があってもよいのでは…（島外から来た子にばかり手厚い気がする）。



#周防大島町で育つ子どもたちに支援を

島高の寮のバス、地元の子も乗れるようにしてほしいです。
高1の長女の時は、同級生22名中6名しか残りませんでした。
島に高校があるのに、こんなにほかの学校に進学するのは問題ではないでしょうか。
これからも、周防大島町で育つ子どもたちをしっかりと支援して、子育てのしやすい島にしてください。



相談しやすい環境を

#子育てで困ったこと

ある日、仕事をしていたら、日頃お世話になっている議員さんが「おめでとうございます！当選されました。」と言って訪ねて来ました。何のことかと思い聞いてみると、「町内での子育て」に関する原稿執筆の依頼でした。

子育てをしていくうえで困った事といえば、夫婦共働きのため、用事ができた時の子どもの預け先でした。土日等、学校が休みの日でも、夫婦ともに外せない用事が出来た時に、以前は親に見てもらっていましたが、両親が他界し、子どもを預けるところがなく、探すのを苦労した覚えがあります。特に、日曜、祝日等と用事が重なった場合は、友人、知人等に聞いて預け先を探し、確認をとったりと大変でした。

#もっと良くなるように

今では、預け先も分かっているので良いですが、いろいろと相談しやすい環境があれば良いなと思いました。

議員の皆さまには、日頃から周防大島町のためにいろいろと取り組んでいただいていますので、もっと良くなるように頑張ってください。



橘地区

竹中さん

県内では **周防大島町** と他 1 町 だけ



医療費・保育料が無償で安心子育ての町

#周防大島が大好き

大島地区 後藤さん

結婚して9年目、妻と小学1年生の息子と、小松開作に住んでいます。

安下庄高校を卒業し、大好きなふるさと周防大島のために役に立つ仕事をしたく、大阪の専門学校に進学して資格を取得し、子どものころからの夢だった職種に採用され、従事しています。



#周防大島町の子育て施策の良いところ

若者定住促進住宅施策は素晴らしい！議会を何度も傍聴に行き、抽選にも参加しました。また、岩国基地の交付金により、中学校卒業まで息子の医療費が無料なのはとても安心感があり、保育料が完全無償化にされたことも本当にありがたかったです。

#こんな施策があったらいいな

子育て世代として、この町に望むことは、「学校給食の無償化」「小児医療体制の充実」「総合公園の建設」「若者流出防止のための町営住宅」「上関町のように10年住めば払下げされるような住宅の建設」「周防大島に住み続けたいと思っている若い世代に目を向けた施策」「町立病院を一か所に統合し規模拡大」「町民に寄り添う施策の周知を、SNSを有効活用し、しっかりと！」です。

たくさん提言しましたが、この周防大島が山口県一子育てがしやすい町となるため、子育て世代の代表の藤本町長、議員の皆さん、これからもよろしくお願いします。



子育て支援センターでの交流

橋地区 松田さん

#東京からUターン

私は、2012年に東京から周防大島にUターンしました。

あの時0歳の赤ん坊だった長男は今では小学4年生になり、4歳の双子の次男、三男と共に元気いっぱい育っています。

#地域全体で子育て

町の子育て支援制度も、地域の皆さま方が地域全体で子育てをしていこうという温かい気持ちの表れだと思います。妻は、子育て世代包括支援センター Ohana の育児相談と子育て支援センターでの交流が素敵な取り組みだと感謝しています。

親として、わが子を立派に育てあげることで地域の皆さまへご恩返しできるよう、この島で精一杯、子育てをしていきたいと思います。今後はやむを得ない事情で学校を休んだ子ども達にICTを生かした教材でサポートできる制度があったらいいなと思います。

#地域の皆さまの愛

私はこの町で子育てをしながら、息子たちは地域の皆さまに育てていただいているんだなあと感じます。通学途中に声をかけてくださったり、自分の子どものように叱ってくださったりと、皆さまの愛に包まれて子どもたちは成長しています。

地域のおっちゃん・おばちゃん、いつも本当にありがとうございます。



福祉課推し施策 保育料完全無償化は

藤本浄孝町長
提案理由の説明↓



令和4年第2回 周防大島町議会臨時会 令和4年5月16日(月)

星野朋啓教育長
あいさつ↓



一般会計補正予算 2億434万8,000円 を可決

補正予算の主なもの

地域経済活性化支援 7,782万円 ・全町民へクーポン券を交付 一人当たり500円クーポン券10枚	漁業燃油価格高騰対策支援 3,176万6,000円 ・漁業者の燃油購入時に1ℓ当たり20円を支援
小学校施設改修 5,233万4,000円 ・特別教室の空調設置 4校(久賀・三蒲・明新・沖浦) ・水道蛇口をレバー式に交換(7校の365か所)	中学校施設改修 1,187万6,000円 ・大島中学校の2特別教室の空調設置 ・水道蛇口をレバー式に交換(2校の146か所)

審議した議案とその結果

賛成：○ 反対：●

結果	山 中 正 樹	栄 本 忠 嗣	白 鳥 法 子	竹 田 茂 伸	山 根 耕 治	岡 崎 裕 一	田 中 豊 文	新 田 健 介	吉 村 忍	久 保 雅 己	小 田 貞 利	尾 元 武	荒 川 政 義
----	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	------------------	------------------	-------------	------------------

専決処分の承認

一般会計補正予算(第1号)

可決 欠 ○ ○ ○ ○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ○

条例の一部改正

周防大島町税条例

可決 欠 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

周防大島町地方活力向上地域等における
固定資産税の不均一課税に関する条例等

可決 欠 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

周防大島町国民健康保険税条例

可決 欠 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

補正予算

一般会計(第2号)

反対討論：

↓田中豊文議員



賛成討論：

↓吉村 忍議員



可決 欠 ○ ○ ○ ○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ○

病院事業特別会計(第1号)

可決 欠 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※賛否同数の場合は、議長が決することになります。

5月16日現在の一般会計総額は、

140億9,223万5,000円となりました。



令和4年第2回 周防大島町議会定例会

令和4年6月10日から24日(15日間)



一般会計補正予算 7,844万4,000円を可決

補正予算の主なもの

ワクチン接種事業 ・新型コロナウイルスワクチン4回目接種に係る費用	3,032万8,000円	ひとり親世帯生活支援 ・ひとり親世帯に、子ども一人当たり5万円を給付	834万2,000円
漁港施設整備 ・米空母艦載機部隊配備特別交付金を活用し、油田漁港を整備	2,000万円	ゆめはな開花プロジェクト ・文珠山の登山道を整備しながら登山するイベントの開催	239万6,000円

審議した議案とその結果

賛成：○ 反対：●

	結果	山 中 正 樹	栄 本 忠 嗣	白 鳥 法 子	竹 田 茂 伸	山 根 耕 治	岡 崎 裕 一	田 中 豊 文	新 田 健 介	吉 村 忍	久 保 雅 己	小 田 貞 利	尾 元 武	荒 川 政 義
補正予算														
一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
条例の一部改正														
周防大島町税条例等	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
周防大島町立小学校及び中学校設置条例 （森野小学校と城山小学校を統合する小学校名を「東和小学校」へ決定）	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	
財産の無償貸付け														
地域振興を目的に旧田布施農業高等学校大島分校の温室等を約4年間無償で貸付ける 賛成討論： ↓白鳥法子議員	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	
賛成討論： ↓岡崎裕一議員														

※

※賛否同数の場合は、議長が決することになります。

6月24日現在の一般会計総額は、

141億7,067万9,000円となりました。

行政・病院事業改革特別委員会

役場の機構、郵便局等を活用した行政サービス、行政手続きにおける押印の廃止、未利用財産の処分計画と今後の利活用、温浴施設等の見直し、社会教育施設等の機能集約、病院事業の再編計画について議論をしています。

■ 郵便局等を活用した行政サービスについて



問

総合支所や出張所の統廃合計画の話をはじめから1年以上が経過しています。
窓口業務を郵便局に委託しては？

要望

金融機関も窓口の統廃合が進んでいる中、郵便局は安定したサービスが見込まれます。
今後、住民への行政サービスを維持するために、郵便局で何ができて何ができないのかを、執行部が整理して、9月の会議で報告してもらいたい。

答

総合支所や出張所業務のすべてを、郵便局でできるわけではありませんが、キオスク端末を郵便局に設置すれば、人の手がいらず、多くの日常業務を郵便局に頼めるという考え方があります。

町と、郵便局のどちらが端末を設置するかで、取り扱いに相違もあるので、郵便局との具体的な話し合いを、10月に予定しています。

現在、役場内部の個別セクションから意見を聞いているので、今後は、全国の例も参考にしながら郵便局との話し合いを進めていきたい。

■ 役場の機構改革

問

総合支所の宿日直業務の見直しの内容と、効果は？

答

令和4年度から東和総合支所と橘総合支所の宿日直を廃止し、時間外は大島総合支所と久賀総合支所で受け付けることにしました。

これにより、宿日直の業務委託料が年間約859万円の削減見込みです。

■ 遊休地など未利用財産の処分計画

問

遊休地など未利用財産の処分の今後のすすめ方は？

答

町のホームページや広報などで対象となる土地を広くお知らせし、問い合わせの多い物件から売却をすすめていきます。



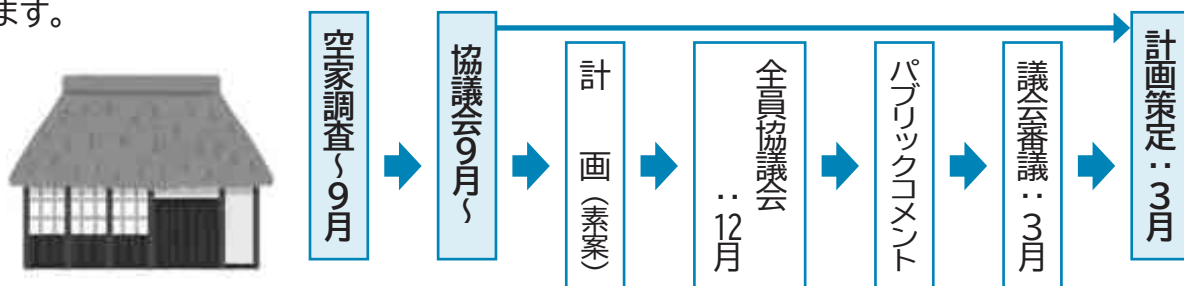
経過報告 !!

地域活性化・害獣・防災対策特別委員会

2年間の任期が満了する12月までに、委員会としてどのような提言ができるか…
日々検討するメンバーが、執行部と様々な提案・協議を重ねています。

■ 空家対策はスケジュール前倒しで着々と

来年度策定予定だった「空家対策計画」を、今年度中に策定するよう前倒しされました。
委託業者による空家調査が終わり次第、空家対策協議会が設置・開催され、計画策定がはじまります。



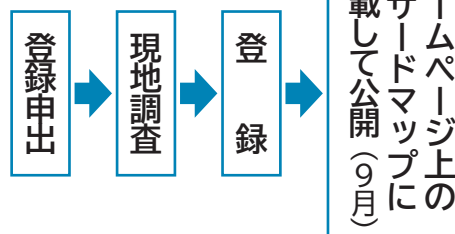
■ 住民からの申し出が伸び悩む“災害時協力井戸登録”

平成30年の長期断水で思い知ったのが、水の大切さと“地域での助け合い”の大切さ。委員会で提案し、総務課と協議しながら、4月からスタートしたのがこの登録制度。現在、申し出が少ないのがネックになっています。



まずは内容を知ってもらうことが大切。
職員でケーブルテレビの番組を作ったり、SNSでの呼びかけもしては？

大災害で、停電になったとき、どうやって水をくみあげるかという問題への対策も考えないと！



■ 廃校活用は始まったばかり。地域の活性化に期待！

旧安下庄中学校校舎は、周防大島高校が10年の契約で活用を開始されました。
生徒の発表会、イベント、空調設備のある特別教室での授業、部活動などで活用されるそうです。

旧油田小学校・旧安下庄中学校が活用されたことによる
水道光熱費・草刈管理費削減効果

約 **360万円!**

他にも、**地域交通対策、イノシシ対策、非常時水源対策**について議論しています。

空いている教室を、第三者が利用することはできますか？

借主の山口県（周防大島高校）が認めたら、利用できます。

周防大島高校の校長先生に、今後の活用について伺うと、将来的には地域の方々にも空き教室を使っていただき、生徒との交流を深めてほしいとおっしゃっていました。

一般質問

6月22日(水)

一般質問の動画は左下のQRコードから
YouTube でご覧いただけます

今回は8名が登壇

喫緊の課題やまちづくり等の議員主導による**政策議論**

町民目線で執行部に挑む！

竹田茂伸議員

(13ページ)



病院再編計画の進捗状況について

新田健介議員

(11ページ)



高校生(16~18歳)医療費無償化を！
火葬場(斎場)でのAED設置について

山中正樹議員

(13ページ)



AEDの付属に、三角巾を加えることについて
旅先納税について

藤本 浄孝 町長



山根耕治議員

(11ページ)



宮本常一関連資料と写真プリントの取り扱いについて
今期の柑橘の収量への対策について

白鳥法子議員

(14ページ)



周防大島町の目指すべき観光の方向は？

吉村忍議員

(14ページ)



定住対策について
安心して出産ができる環境づくりについて

岡崎裕一議員

(12ページ)



農業資材の高騰に支援を！！
親元就業者に継続的支援を！！

田中豊文議員

(12ページ)



コンプライアンスについて (3)

町政を問う！

周防大島町議会チャンネル↓



新田健介 議員



高校生の医療費の無償化を！

問 現在、本町では0歳児から中学3年生までの医療費全額助成を行っていたいておりませんが、これを高校生まで拡充する考えはありませんか？

慎重に検討

答 高校生の医療費無償化は、子育て世帯の方々への大きな支援になるであろうと思いますが、給付要件や将来の財政見通しなど、制度設計に関しては慎重に検討していきたい。

給食費の無償化に関しては？

問 給食費の無償化に関しての目途は立っていますか？

財源確保に努力

答 財源が伴うことなので、確保に向け努力していきたいと考えています。



高校生の医療費の無償化を！

斎場にAED設置を！

問 本町にある2か所の斎場にはAEDが未設置です。早急に設置すべきでは？

早期に設置していく

答 現在、橘斎場には緊急に設置が完了し、今後は大島斎場についても設置する予定です。

講習会の継続的な開催を！

問 救命率を高めるために、一人でも多くのAEDを使用できる人材を増やしていくことが重要です。ただ設置して終わりではなく、継続的な講習会の実施が必要では？

今後は対象者を拡充して実施

答 7月には講習会もあり、今後は対象者の拡充を予定しています。

山根耕治 議員



宮本常一関係資料の活用は？

問 このたび宮本常一記念館が所蔵する「宮本常一関係資料」が山口県有形文化財の指定を受けました。

これらの資料について、町外の文化施設への貸出など、今後の活用方法について伺います。

活用方法を研究

答 今回指定を受けた資料は破損の恐れもあり、貸出などは慎重に扱う必要があります。

しかし、宮本常一先生の業績を広く周知するためには、積極的に公開する必要もあるため、県文書館などから意見を聞き、研究していきたい。

宮本常一先生の情報発信には適正な対応をしていきます。

今期の柑橘の収量への対策は？

問 今年のみかんなど柑橘は花が極端に少なく、このままでは、出荷量が極端に減少する生産者も出てくる恐れがあります。

町の現状把握と対策について伺います。

国や県とも連携した支援

答 関係機関の調査からも、今期の柑橘の生産量はかなり減少することが予想されます。

昨年から寒波などが原因と考えられ、今後の気象情報をみながら適切な技術指導で生産量を確保することが重要です。

この現象は西日本全域にわたっているため、国や県とも連携した支援を考えていきます。



「宮本常一関係資料」が保存されている記念館の収蔵庫

岡崎裕一 議員



農業資材の高騰に支援を！

問 昨年から農業資材の値上がりに加え、ロシアの侵攻などにより、輸入肥料などの価格が爆発的に跳ね上がりました。

答 そこで、生産者に対し、農業資材購入量に応じた支援などの考えはありませんか？

また、価格転嫁できない農産物への支援は？

国・県の動向を踏まえ対応する

答 政府は肥料の高騰が農産物価格に影響を与えないよう、生産者に補てんし価格上昇を抑制することなどを表明しており、山口県の関係各所でも相談窓口が設置されています。

町として、国や県の動向を踏まえ、今後対応していきたい。

親元就農者にも継続的な支援を

問 後継ぎとして周防大島町に戻った親元就農者に対し、新規就農者と同様、資金などの支援を受けるための方策を伺います。

また、これまでの支援実績と、それぞれだけ定着されているのかを伺います。

親元就農者にも行っている

答 新規就農者育成総合事業という名称で行っています。

50歳未満で、農業者となる強い意志を持ち、5年以内に農業経営を開始するなどの要件がありますので、詳しくは町農林水産課へお問い合わせください。

これまでに事業を活用したのは新規就農者のみで、令和3年度末までに30名の方が定着されています。



町の相談窓口はこちら
農林水産課
(TEL：0820-79-1002)

田中豊文 議員



コンプライアンスについて(3)

問 行政に対する町民の信頼を得るためにコンプライアンスの重要性は十分認識されていると思われませんが、具体的にどのような対策されているのか伺います。

答 今年度予算化された有識者懇談会を立ち上げコンプライアンスの向上を図りたい。

問 病院事業局の歯科金属売却入札は、歯科治療で発生した約3kgの金属を売却したとのことですが、橘医院開業以来21年間の数量で間違いありませんか？

答 患者さんにお返しした物、医療廃棄物として処分した物を除き、現状保管されている物がすべてです。



橘医院

問 仕様書作成のためにあらかじめ入札参加業者の一部から数量見積もりを徴収していますが、公平性・公正性の面に問題はありますか？

答 落札したのは別の業者であり問題はないと考えますが、好ましくなかったと思います。

問 発生した金属の数量及び売却数量の検査はどのような方法でしていましたか？

答 検査ルールが明確にされていなかったため、今後は適切に管理してまいります。

問 管理をしていないのであれば約3kg、売却費約1千万円の裏付けがないということになります

が、公共機関として町民に対する説明責任を果たすためにも、これ以外にはないのか調査が必要ではありませんか？

答 新たな事実が判明すれば9月を目処に調査します。

竹田茂伸 議員



労働組合との円滑な関係を

問 医療に関する町民の安心・安全を守るには、職員が、奉仕の精神で元気に仕事ができること、充実した明るい職場になることが重要と考えています。

答 管理職の教育体制、ハラスメントの相談体制など、職員が相談しやすいシステムを作り、職員の声を聴く体制づくりなど、早急に労働組合との円滑な関係づくりを進めるべきではないでしょうか？

今後は定期的に

話し合いの場を

答 労働組合とのコミュニケーションが十分とれていないこともあったので、先般、話し合いの場を設けたところです。

今後は、情報交換の場として定期的に行うこととし、改善していききたい。



話し合いを通して、
明るく充実した職場環境を！

電子カルテの早期統合を！

問 政府は、新しい資本主義の主な重点投資分野で、脱炭素、デジタル化の中に電子カルテ情報の効率化を進めるために、医療デジタル化を推進する本部を設置する予定です。

病院再編計画を成功させるためには、「イノベーション・マネジメント」の導入が急務と考え、早急に病院事業局内の電子カルテの統合を提案します。

統合について検討

答 令和6年には、電子カルテと連動している医事会計システムの更新時期がくることから、電子カルテの統合について検討してまいります。

山中正樹 議員



「三角巾」をAEDの付属品に！

問 傷病者の性別により、AEDの使用を躊躇しないよう「三角巾」を付属品に加えていただきたい。

けが等応急処置にも利用！

答 「三角巾」をAEDの付属品として備えることは、プライバイシーの保護に加え、けが等の応急処置にも利用できることから、町で管理する69台に關しては、予算の範囲内で順次対応してまいります。

その際は、「三角巾」の利用方法を記載したリーフレットも添えて、準備をしたい。



三角巾で応急処置

旅先納税導入を！

問 旅先納税は、ふるさと納税の新ツールとして、我が町に來訪促進が期待できるので、システムを確立し、導入を考えていただきたい。

慎重に調査・研究

答 「旅先納税」は、ふるさと納税のツールがひとつ増え、これまで返礼品の恩恵を受けづらかった宿泊施設、飲食店、観光施設などにおいて、利用ができ、さらなる消費喚起、交流人口の増加及び町内業者の新たな地域活性化につながっていくものと考えられます。

旅先納税は、全国で5自治体が導入していますが、まずは先進事例を参考に調査・研究してまいります。

白鳥法子 議員



目指すべき観光の方向は？

問 観光振興をどのようにまちづくりにつなげるのか、総合計画からは具体的にわかりません。

コロナ禍を経て観光が動き出した今、改めて問います。町にとつての観光産業の意義や目指す方向は？

特色を活かした取組みにシフト

答 観光産業は、町外から収入を得る手段のひとつとして重要な産業だと認識しています。これまで、周防大島の認知度を上げるため観光キャンペーンなどに力を入れてきましたが、コロナでそれも止まっています。今後は、自然との共生、豊かな自然・地域資源を活かした取組みに、これまで以上に重点を置こうと考えています。

写真提供：子育てリンク周防大島



桜もある島の遊びスポット。例えばここに、キッチンカーとかあったら…

行政・民間の役割は？

問 目指すべき方向に向けて、行政の役割や民間事業者・住民に求めることは？

調査分析も行い民間とともに！

答 行政としては、観光客の意見やニーズ把握・分析も行い、方向性を定めていこうと思っています。そのために観光協会や商工会など観光関連団体と一緒に生かす仕組みをすぐにでも作ろうと考えています。

民間事業者の方々には、町が目指す方向と足並みをそろえて、今後も周防大島の特性を活かした商品やサービスを提供していただきたい。

住民の皆さまにも、あたたかく来町者を迎えていただきたい。

要望 職員

の方々にも、改めて現場に出て地域資源を体験していただき、施策立案の根拠としていただきたい。

吉村 忍 議員



子育て世代の住宅取得支援を！

問 町内の子育て世代の方が、町内に定住することを目的として、新築住宅または中古住宅を取得する場合に、助成金を交付する事業を提案します。

前向きに検討

答 県内複数の市町では、若者や移住者に対し、住宅の取得に対する支援を行っています。

本町におきまして、さらなる定住を促進し、地域の活性化のためにも検討を要するもののひとつと考えられることから、前向きに検討していきたい。

なお、住宅取得に対する支援を行う場合には、子育て世帯に対するもののほかに、空家の活用や地域経済の活性化などを合わせた、複合的な施策となるよう研究してまいりたい。

結婚新生活支援事業を！

問 町内の方同士が結婚、または町内の方と町外の方が結婚し、町内に定住する場合の新生活を支援するための事業を実施することを提案します。

再度、検討

答 人口減少対策及び少子化対策は、本町における、重要な施策のひとつだと認識しています。

若年層に対する支援については、結婚に始まり、子育てまでの一連の流れのなかで、総合的に支援を行うことが重要だと考えています。

このようなことから、一連の流れに沿った支援を考える中で、「新婚世帯に対する支援」の効果について、現在すでに実施している自治体の実態・実績などを参考に、再度検討していきたい。

周防大島町の婚姻組数

年	2017	2018	2019	2020
組数	36	24	23	29

政府統計（e-Stat）より

今回の質問の趣旨

町外からの移住者を呼び込む施策も大切ですが、現在、町内に定住している方に、今後も住み続けていただくための施策の方がより大切であると考えます。

議長執務室



荒川政義 議長

4月～6月の公務

- 4月 7日 大島護国神社例大祭
11日 (東京都)
全国町村議会議長会臨時理事会
21日 山口県飲食業生活衛生同業組合
周防大島支部設立総会
25日 和木町議会運営委員会視察研修対応
5月 11日 (東京都)
全国町村議会議長会理事会
全国町村議会議員互助会理事会
全国町村議員会館理事会
16日 議会運営委員会
第2回臨時会
総務文教常任委員会
23日 柳井地区広域市町議会議長会
定期総会 (柳井市)

5月 30日 (東京都)

町村議会の制度・運営に関する検討委員会
全国町村議会正副議長研修会

31日～6月1日 (新潟県)

全国町村議会議長会理事会
都道府県会長会
全国町村議会議員共済会代議員会
全国町村議会議員互助会代議員会
全国町村議員会館定時評議員会
全国町村議会議員共済会理事会
全国町村議会議員互助会理事会
全国町村議員会館臨時理事会
都道府県会長会視察

6月 3日

議会運営委員会

10日

第2回定例会 (初日)

全員協議会

14日

行政・病院事業改革特別委員会

21日

山口県市町村振興協会

定時評議員会 (山口市)

22日

第2回定例会 (第2日)

24日

第2回定例会 (最終日)

監査委員室

4月～6月の実施状況

- 4月 26日 例月現金出納検査
(水道事業・下水道事業・病院事業・会計課)
定期監査 (健康増進課)
5月 18日 定期監査 (4 総合支所・社会教育課)

今回は

「監査委員の定数と任期は？」です。

5月 27日

例月現金出納検査

(水道事業・下水道事業・病院事業・会計課)
定期監査 (商工観光課)

6月 27日

例月現金出納検査

(水道事業・下水道事業)

決算審査 (水道課・下水道課)

29日

例月現金出納検査 (会計課)

決算審査

(会計課・議会事務局・監査委員事務局)

例月現金出納検査 (病院事業)

決算審査 (病院事業局)



新田健介 監査委員
(議会選出)

監査委員の定数は、人口規模に応じて、地方自治法により定められています。本町では、周防大島町監査委員条例で定数を2名と定め、町長が議会の同意を得て選任します。

選任は町長が行いますが、権限は首長から独立しており、他の執行機関から独立した立場で職務を行います。

本町には、2名の監査委員がおり、1人目は、人格が高潔で、地方自治法の財務管理、事業管理及び行政運営について優れた識見を持っていると認められる者(代表監査委員)を選任、任期は4年です。

そしてもう1人は、議会議員から1名選任されており、こちらの任期は、議員の任期となっております。

議員活動報告



4月 1日 議会広報編集特別委員会
25日 和木町議会運営委員会
視察研修対応（栄本・吉村）
27日 令和3年度大島郡体育協会
収支決算に係る会計監査（久保）
5月 16日 議会運営委員会
第2回臨時会
総務文教常任委員会
30日 全国町村議会正副議長研修会
（東京都）（尾元）
6月 3日 議会運営委員会
令和4年度周防大島町
久賀福祉センター運営審議会
（新田）

6月 10日 第2回定例会（初日）
全員協議会
議会広報編集特別委員会
14日 地域活性化・害獣・
防災対策特別委員会
行政・病院事業改革特別委員会
22日 第2回定例会（第2日）
24日 第2回定例会（最終日）
28日 議会広報編集特別委員会
30日 議会広報編集特別委員会



編集後記

このたび表紙を飾るにあたり、久賀グラウンド・ゴルフ協会の皆さまにご登場いただきました。

グラウンドゴルフは、ボールを打ち出す強さや角度、地面の状態や傾斜などを計算しつつ行う、緻密で繊細なスポーツです。しかも、とにかく歩く。1ゲームでなんと1万4,000歩!!
ゲーム前には自主的にグラウンドの草ひきなどもされておられると撮影時にお聞きしました。

アフターコロナでこれから外に出る機会も増えると思いますが、生涯スポーツがますます盛り上がり、健康で楽しい毎日が一刻も早く戻ってくることを切に願った一日でした。

久賀グラウンド・ゴルフ協会の皆さま、プレー中にもかかわらず、根掘り葉掘りの質問にご協力ありがとうございました。

また、お忙しい中、原稿をお寄せいただいた子育て世代の皆さま、本当にありがとうございました。

いろいろな時、いろいろな場所で、またご意見等お伺いすることがあると思います。その時はご協力をよろしくお願いいたします。

議会広報編集特別委員会 委員 岡崎 裕一



編集委員会

委員長 吉村 忍
副委員長 栄本 忠嗣
委員 山中正樹 白鳥法子 竹田茂伸
山根耕治 岡崎裕一

議会広報・議事録を公開しています。
議事録は各図書館にも備えています。



発行／周防大島町議会

〒742-2192

周防大島町大字小松126-2

TEL: 0820-74-1003（議会事務局）

編集／議会広報編集特別委員会

印刷／（有）日良居タイムス

表紙デザイン／新村則人